

令和6年 第1回 北海道議会定例会 予算特別委員会〔総務部所管〕開催状況

開催年月日 令和6年3月14日(木)

質問者 民主・道民連合 高橋 亨 委員

答弁者 財政局長、財政課長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>五 予算の提案について (一) 今回の補正対応について 今回の観光予算の追加のように、新年度予算を提案した後に、その審議が始まっている途中で、実際の支出は次年度となる実質的に新年度予算を「増額補正」、という手法を行ってきましたけども、地方公共団体の予算提案のあり方として正常なのかどうかお聞きしたいと思います。</p> <p>【再】(一) 今回の補正対応について 観光局からも説明を聞きましたけども、一向に分からない。議会側はほとんどの人が理解できないという話をしているわけです。しかし、何度聞いても繰り返し、今聞いても同じことを繰り返しているということでございます。</p> <p>私たちの会派に説明に入ったときに、財政局長が、これは、予算提案権があるからだと言っていましたけどもそれは本当ですか。</p> <p>【指摘】 予算提案の説明の時に、正当な理由で相手を説得することができない状況の中で、「予算提案権があります」というのは、これは開き直り以外の何ものでもありません。開き直りということは他の説明が何もできていないということになるわけでございます。</p> <p>したがって、予算提案権があるからなんていうのは権利の乱用だと私は思っています。そのことをきちっと正さないとならないと思います。<u>これも知事総括によるしく願いたいと思います。</u></p>	<p>(財政課長) 補正予算の編成やその提案時期は、事業内容や執行時期、緊急性などを個別に判断し、決定しているところでございます。</p> <p>先般、令和5年度の最終補正予算案に計上した欧米豪FIT旅行客誘客・受入事業費につきましては、今年度中に着手をし、施策効果が早期に発現されるよう取り組んでいくことが重要と考え、令和5年度予算として提案したところでございます。</p> <p>(財政局長) 予算提案に当たって、一般的な法令の話をしたという風に認識をしております。</p>